

ユービコールノロVでエンベロープウイルスへの効果を確認

～大阪府立大学との共同研究より～

セッツ株式会社（本社 大阪／代表取締役社長 大前敏和）は、大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 獣医公衆衛生学教室 安木真世准教授と共同で、ブドウ種子エキスの配合系エタノール製剤「ユービコールノロV」において、現在世界的流行を起こしているエンベロープウイルスに対する不活化効果を確認しました。

エンベロープウイルスに対して有効なエタノール濃度は、一般的には70～83vol%とされています。厚生労働省の通知では60vol%台でも一定の有用性があるとされていますが、昨今、原料アルコールの供給がひっ迫しており、消毒に必要な高濃度エタノール製品の生産・供給が国内において困難な状況になりつつあります。

セッツでは、ブドウ種子エキス（主成分：プロアントシアニジン）の抗ノンエンベロープウイルス効果について長年研究を積み重ね、本研究を応用した低濃度エタノール製剤「ユービコールノロV」をいち早く市場に提案してまいりました。

今回、共同研究によって、エタノール（50vol%台）のユービコールノロVが現在世界的流行を起こしているエンベロープウイルスに対しても不活化効果を有することを初めて確認することができました。

天然素材プロアントシアニジンのポテンシャルは高く、これからも研究を深化させ、製品とサービスを通じて社会に貢献すべく努力してまいります。

＜評価方法と結果＞

ウイルス液：試験液＝1：1

室温で1分間反応後、中和処理

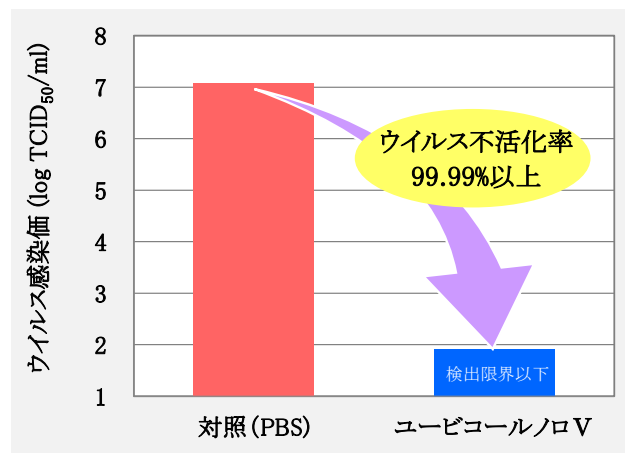
TCID₅₀法にてウイルス感染価を測定

ウイルス不活化率 99.99%以上

PBS：リン酸緩衝液

検出限界以下：本希釈以上では非感染細胞においても細胞傷害性が認められたため

ユービコールノロV添加群では対照群と比較して99.99%以上のウイルスを不活化した。



お問合せ先 セッツ株式会社 営業部

TEL:072-280-0920 大阪府堺市西区築港新町1丁5番地10